

## ウォーキング

# 富田の海岸緑地を歩く

令和5年2月18日（土）

1. ルート 近鉄富田駅～一本松～霞ポートビル～富双緑地～飛鳥神社～川越富洲原駅  
11.0 km (11,500 歩)
2. 参加者 伊藤利男・伊橋健治・喜吉 雄・伝田 貢・中村 衛・中村軍志  
福本 泉・濱田 一 8 名



ポートビル前のシドニー港公園にて

### 3. ドキュメント

8時30分近鉄富田駅の西口に集合する。今月11日の第二土曜日は荒天が予想されたために延長して18日の催行となった。この日も夕方には雨が降りだすだろうとの予報が出ているので傘を忍ばせての参加となる。駅から少し歩いたところで桜並木の十四川の川辺に出るが桜のつぼみはまだ超堅しである。川筋に沿って東の方に歩いていくと東海道（国道一号線）を横切ったところに一本松があった。



十四川の桜並木



富田の一本松

### 富田一本松

かつてこの付近は海岸線であったため「浜の一本松」と呼ばれていた。伊勢軍記に関勢が茂福城を攻めた時、神戸勢が海路から援軍を送り上陸する目標にした。また織田信長が北伊勢に侵攻した時にも上陸の目安にしたと言われている。初代の松は七百年を超える大木であったが伊勢湾台風や環境の変化のため枯死した。今の松は二代目でその後植えられたものである。(説明板より抜粋)

さらに海岸に向かって歩き名四国道(23号線)を潜っていくと船着場に出る。今は漁師さんもないと見えて一隻の漁船も停泊していなかった。かつてこの付近一帯は砂浜で海水浴場として賑わったところであるがその面影はどこにも見当たらない。浜園緑地を通り四日市第三コンビナートに渡る霞大橋を渡る。橋を渡ったところに四日市港ポートビルが建っている。その前がシドニー港公園でちょっと一休みして集合写真を撮る。ポートビルに立ち寄り最上階の展望をたのしむ。



船着場らしきところを歩く



浜園緑地を通る



シドニー港公園



熱帯風の樹木とポートビル

ポートビルを後にして霞大橋を渡り返して再び富田浜地区に戻り、飲み物を求めて国道一号のコンビニに立ち寄る。そして再度名四国道を潜って昼食場所の富双緑地に向かう。この索漠とした工場と道路の谷間に静かな緑地公園があちらこちらに造られていたとは知らなかったのは私一人だろうか？



広々とした緑地でカンパイ



富双緑地から見る霞コンビナート



飛鳥神社



伊勢湾台風の最大潮位標

富双緑地で昼食を摂り始めたのは12時10分ごろ、ビールで乾杯して「ご苦労様」と声を掛け合やす。楽しい会話の中、空から何か落ちたので急いでシートをたたんで昼食を切り上げる。富田一色町の元漁師町を通り川越富洲原駅に向かう。広小路と呼ばれている道幅40mほどもあるかと思われる所を歩く。漁業が盛んな時はこの道に干物などを並べたとのことである。その広小路に飛鳥神社が祀られているので立ち寄りお参りする。神社から少し歩いたところに伊勢湾台風の記録を残すための小公園があり、その時の最大潮位を現わしたモニュメントが立っていた。川越富洲原駅に到着したのは13時30分、青空の下を歩くことは出来なかったけれども雨に降られることもなく楽しくウォーキングを実行できた。



川越富洲原駅前の方位碑